

今年の子年

今年

は子年。昔は夜に天井裏を走り回り、チュウチユウと鳴く声が聞こえたりしたものです。最近では純粋な日本家屋の構造が変わってき

ネズミ

は、数も種類も多く、ほ乳類の約半数、千七百種を占めるといわれています。しかも、ほぼ全世界に分布して

身近

な動物だけに、こば登場します。弱者でも強い詰められると強者に逆襲する

か、家屋の構造が変わってき

盛で、一回に二十匹の子を生む種類もあります。

小さいことの例えである「泰山鳴動して鼠一匹」などは、よく知られています。「頭の黒い鼠」とは、頭髪の黒い人間をネズミになぞらえて、物を盗む人のことです。「鼠の嫁入り」は、あれこれと選んでみるも、結局は変わりばえしないところに落ちていくという例えです。



平成八年

人間は、昔からネズミの害に悩まされています。ノネズミは農作物を荒らし、牧草地の草の根を食べたりします。イエネズミは貯蔵食糧を食べ、ときには電線やガス管をかじって人間を困らせたりします。また、下水道などの不衛生な場所を通り道にするため、伝染病であるペストをもたらすこともあります。古代

アテナやローマ帝国が滅亡したのは、ネズミがもたらしたペストのためだという説もあります。一方、ネズミの仲間でも、ハムスターなどの種類は、実験動物として医学の進歩には欠かせません。

「明るい家庭づくり」「家庭の日」に関する作文の入賞発表

- 〈小学校低学年の部〉
 - 最優秀賞 ほかわゆき(立仏小一年)「だいすきなあいこ」
 - 優秀賞 そやまあゆみ(板井小二年)「わたしの家の母の日」
 - 奨励賞 いずみすか(大野小一年)「みんなようながしておどった」
 - 奨励賞 ひわたりあや子(大野小二年)「うちのおばあちゃん」
- 〈小学校高学年の部〉
 - 最優秀賞 小松絵里(板井小四年)「わたしの大きなお父さん」
 - 優秀賞 五十嵐安奈(黒鳥小四年)「カリフラワー植え」
 - 奨励賞 保莉加奈子(黒鳥小三年)「スイカだしのお手つだい」
 - 奨励賞 茨木瞳(板井小三年)「おぼんのそうじ」

- 〈中学校高学年の部〉
 - 最優秀賞 大矢和成(板井小五年)「家族のしんせつありがとう」
 - 優秀賞 岡田由美(板井小六年)「収かくの喜び」
 - 奨励賞 家塚こころ(大野小六年)「家族と犬」

- 〈中学生の部〉
 - 最優秀賞 本間恵子(黒崎中学三年)「明るい家庭を作るために」
 - 優秀賞 石橋可奈子(黒崎中学二年)「母の仕事」
 - 奨励賞 鈴木彩子(黒崎中学一年)「私の家族」
 - 奨励賞 五十嵐陸美(黒崎中学一年)「うちのねーちゃん」
 - 奨励賞 渡辺佳奈(黒崎中学二年)「週に一回の同居日」

※右の入賞作品に佳作五十八点を加えて、十一月十日に文集として発行しました。

また、入賞作品の表彰については、例年二月下旬に行われている「青少年健全育成大会」の席上で行う予定になっています。

▼主催 黒崎町青少年育成町民会議

黒崎町史のひろば

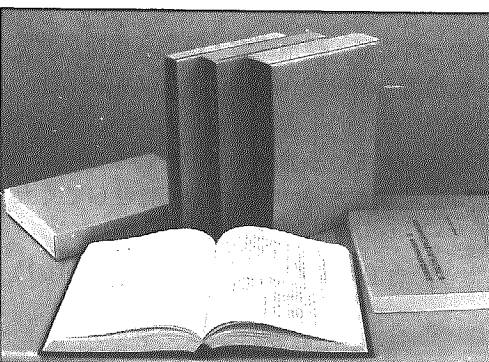
8

平成8年に刊行を予定している 黒崎町史の3巻をご紹介します

おけましておめでとうの季節です。さて、一昨年から刊行の始まった黒崎町史も、全八巻のうち三巻が発刊されました。その内容については、このページの左下の欄にまとめたとおりです。また、いずれもまだ入手可能です。さて、平成八年には、黒崎町史は三巻を刊行する計画です。『資料編1 原始・古代・中世』『資料編2 近世』『資料編3 近代・現代』の三冊です。今回は、今年刊行予定のこれら三冊について御紹介します。



緒立遺跡から出土した土器などの遺物や町内で昔使われていた多数の民具を収蔵している常民文化史料館。建物自体が貴重な歴史資料でもある。(緒立)



既刊は近代、現代、自然の3冊

黒崎町史は現在『資料編3近代』『資料編4現代』『資料編5自然』の3冊が刊行済みです。

『資料編3近代』は、明治維新から昭和20年の敗戦までの、黒崎の政治・経済・産業・教育などの資料を収録。897ページで1冊5千円。

『資料編4現代』は、昭和20年の敗戦から昭和の終わりまでの、黒崎の政治・経済・教育などの資料を収録。565ページで1冊4千円。

『資料編5自然』は、町内の動植物や気象・地質などをオールカラーで紹介しました。386ページで1冊1万円。

また、参考資料として『新発田藩主溝口家御記録「歴代廟記」抄』も頒布しています。江戸時代の黒崎町域の多くを治めていた新発田藩の公的年代記録を収録。並製で1冊3千円。

以上の4冊(いずれもB5判で、価格は消費税込み)とも、役場新館2階の町史編さん室で取り扱っています。数に限りがありますので、お早めにお求めください。お問い合わせは、役場 ☎ 377-3101 内線 231 か 233 へどうぞ。

資料編1

原始・古代・中世

この巻は江戸時代よりも前の時代、縄文時代以前から安土桃山時代までの、黒崎町域に関するさまざまな資料をまとめたものです。

考古学資料としては、緒立遺跡ほか町内に存在する遺跡と、そこから出土した土器などの遺物を、写真・図を多く

資料編2近世

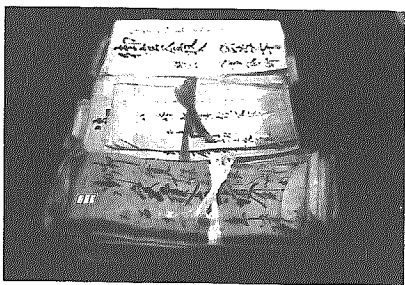
使って解説します。また、文献資料については現在の黒崎町とその周辺に関するものを集め、注・解説をつけ、読みやすくしました。

この巻は江戸時代の、黒崎町域に関する文書資料を年代順に収録します。じっくり読めば、人々と時代の動きが見えてくることでしょう。

また、近世以降、蒲原の人々に大きな影響をあたえた黒鳥兵衛に関する資料は、この巻にまとめられています(ほとんどの資料が江戸時代以降のものであるため)。

資料編6民俗

この巻には、黒崎の昔の生



このような古文書が町史の資料になります(黒鳥兵衛家文書)

広報くろさきにチラシをさみこみますので、御注文はここに付けられたハガキでお願いします。

来年以降の発行計画

来年以降の町史の発行計画は次のとおりです。

平成九年には『通史編』を刊行します。これは、縄文時代以前から昭和の終わりまでの黒崎の歴史を、図や写真を豊富に使い、全ページオールカラーで、一冊にまとめたものです。

平成十年度には最終配本として『別冊・自由民権編』を刊行します。これは、明治十年代に全国にまきおこった自由民権運動で、全国的に活躍した山際七司を中心に資料をまとめたものです。